

日本不動産学会長賞

川のある豊かな日常

～聖蹟桜ヶ丘北地区の土地を利活用した「地域防災力の向上」・「自然再興の促進」・
「賑わい創出」の同時実現～

東京建物株式会社・株式会社東栄住宅

〔授賞理由〕

本事業は、京王電鉄聖蹟桜ヶ丘駅北側の多摩川隣接地に高規格堤防に準拠した盛土整備をした土地
区画整理事業区域内に首都圏で初となる超高層 ZEH-M によるマンション開発を行った事例である。

自然環境保全のために脱炭素・生物多様性へ配慮した開発であるとともに、河川災害に対する機能
維持のための施設投資（電気設備および給水ポンプの地上階設置）を行っている点や地元自治体との
協定に基づいて施設内に指定緊急避難場所を設置し同時に敷地内の公開空地に防災備品を整備してい
る点など地域社会を含めて防災機能向上に努めた住宅開発として高く評価することができる。加えて、
自治体・地元企業と協力してエリアマネジメント組織を設立し、周辺地域のにぎわい創出を図ろうと
している点も社会性を有する事業であると判断できる。

よって、本事業は、業績賞授賞に値する。